

7 共同利用・国際協同観測・研究交流

7.1 ドームレス太陽望遠鏡(DST)

7.1.1 共同利用

京大以外の研究者への共同利用割り当て日数：計126日間（約21週）

- ・川手朋子(核融合研) 計46日間

「小型放電装置を用いた偏光分光によるプラズマ診断手法の開拓」

- ・松本琢磨(国立天文台)、他 計3日間

「SUNRISE-3との共同観測から迫る彩層磁気活動現象」(試験観測のみ)

- ・當村一朗(大阪府立大学工業高専)、川上新吾(文科省) 計10日間

「2波長同時高速2次元分光による光球～彩層ダイナミクスの速い時間変動の観測」

- ・北井礼三郎(立命館大学)、他 計12日間

「彩層プラージュの加熱とジェット」

- ・野澤恵、他(茨城大学) 計17日間

「Ellerman Bombの高時間空間分解分光観測による定量的理解」

- ・三浦則明、他(北見工業大学) 計20日間

「新AOシステムのテストと校正」

- ・末松芳法、伊集朝哉(国立天文台) 計12日間

「ニオブ酸リチウム近赤外狭帯域フィルター開発による太陽観測」

- ・花岡庸一郎、森田諭(国立天文台) 計6日間

「H2RG赤外カメラによる偏光観測の機能実証」

7.1.2 他大学・学校向け観測教育実習

5月23日～5日24日 茨城大学4年生 太陽分光観測実習

7.1.3 国際協同観測

7月18日～23日、8月29日～9月3日

Hida-HINODE-IRIS Campaign Observation (IHOP0362)

“彩層プラージュの加熱とジェット”